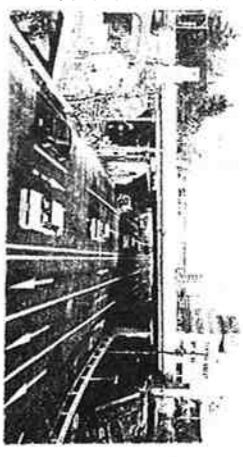


わがまち

ごめ

発行 大田区史生表によれば「昭和15年11月第二京浜国道の敷設にとまね、日本最初の立体交差道路である松原橋が完成」とあります。環状七号線は昭和14年にはじまるとありますので、この頃は、二大幹線の道路工事で大変だったことでしょう。



環七から見た松原橋



上から見た松原橋 (写真提供：大田区)

松原橋の立体交差とその周辺

新大田百景 その四

第二京浜国道(国道一号線)と環状七号線とが交差する松原橋は、日本最初のインクジェット(信号機不要の立体交差点)として造られました。普通は四つ葉のクローバー型ですがここは二葉の不完全クローバー型です。

大田区史生表によれば「昭和15年11月第二京浜国道の敷設にとまね、日本最初の立体交差道路である松原橋が完成」とあります。環状七号線は昭和14年にはじまるとありますので、この頃は、二大幹線の道路工事で大変だったことでしょう。

現在、このような立体交差は珍しくありませんが、昭和30年代には教科書にも載りまして、馬込・山王・矢口等の小学生が社会科の勉強のために見学に来たそうです。

◆第二京浜国道。計画されたのは昭和11年。予想される交通量の増加と、昭和15年に第12回オリンピックが東京で開催の予定となり、ランソ道路としてもう一本の国道がどうしても必要となったためです。

◆地下鉄一号線のこと。第二京浜の下を通る地下鉄(押上-西馬込昭和43年開通)を地下鉄一号線といいます。一号二号の番号は、都市交通審議会が東京の地下鉄建設計画の答申で使用した番号で、一号線だから一番先に開通したわけではありません。現在は都営地下鉄浅草線と呼ばれています。

◆品鶴線(現横須賀線)のこと。第二京浜国道と馬込橋の下で交差しているのが品鶴線です。昭和4年頃開通した品川と鶴見をむすぶ貨物線で、昭和63年から横須賀線の一部となりました。

大正の頃、東海道線の旅客輸送と別ルートの貨物専用線が必要となり、品鶴線の工事が始まりました。これにより馬込は南北に分断されました。

現在、品鶴線の上には東海道新幹線が走っています。馬込橋交差点の付近で第二京浜をまたいでいますが、この付近の交通の重なり具合をみると、上から順に、東海道新幹線、第二京浜国道、横須賀線、環状七号線、都営地下鉄浅草線という順になります。

もしも馬込橋のあたりに新幹線と横須賀線の駅ができたら……など空想してみるのは楽しいものです。(わがまちまごめ2号、3号、9号、11号等参照)

馬込情報

◎「わがまち馬込」ふるさと散歩 6月5日(月)、わがまち馬込地区推進委員の方約30名が参加。

わがまちまごめの松本編集長の案内で、長遠寺-八幡神社-万福寺-富士講灯笼-北野神社-如来寺のコースを歩きました。本堂の中にも入れていただき、めぐらし、い仏像なども拝観できました。

◎大田区総合防災訓練 9月1日(金)防災の日、直下型大地震の発生を想定して区内四か所の会場で行われます。今年も、馬込も四か所の中の一つに当り、馬込第三小学校で9町会が参加して実施されます。

◎自転車の引取りが有料に 駅前などに自転車を放置して撤去された場合には、引取り時に二千円(原付は三千円)が徴収され、10月1日から実施。

◎馬込のお祭り 馬込八幡神社の例大祭が今年も盛大に行われます。

9月9日-宵宮祭、10日-大祭 その他、北野神社、熊野神社、西三稲荷神社、天祖神社、湯殿神社等、また各町会、商店会でも各種催しが開催されています。

◎第十二回区民スポーツまつり 10月10日(火)大田区体育館 恒例の地区対抗綱引きも行われ

ます。馬込チームの応援に皆さんもふろって参加しましょう。

◎第七回馬込ふるさとめぐり 12月3日(日)8時30分集合予定。

馬込地区青少年対主催の「馬込ふるさとめぐり」が梅田小学校を中心に行われる予定。お子さんお孫さんといっしょに参加してみませんか。「子どもニガテン」も予定されています。

◎馬込地区自治会連合会会長が交代 高山信明連合会会長が退任され、後任は菅崎貢中馬込員塚町会長。

◎町会長の交代 馬込東三丁目町会会長(新)眞島カ(前)高山信明 日田坂親和会会長(新)黒崎和夫(前)白田文博

◎国勢調査(10月1日) 今年も五年に一度の国勢調査の年です。9月下旬に調査票がくばられ、10月に調査員がつかいませす。アンケートは守られます。

◎読者からいただいたおたより 前号「いろいろなき意見がございまして」のごみ収集の話。「…収集車が行った後すぐほうきを持っておそうじしている所もありました。そのような道は、落葉のころには朝早くからそうじされています。清掃事務所の仕事だ等とは言語道断だと思います…」犬の落とし物をそのままにする方が多いので、とても悲しいと思っています。もうすぐエアピルして

みてはいかがでしょうか。」お手紙ありがとうございました。

